

第54回 全国設備管理強調月間 作文金賞
株式会社デンソー 幸田製作所 石田 ひかる



**自分たちの設備は
自分たちで守る！**



公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会

Japan Institute of Plant Maintenance

もっと設備の
勉強がしたい

そう思い始めたのは
入社15年目の頃でした。

それまではラインの
作業者として生産に
従事するだけの毎日で、

特別な知識がなくても
このまま変わることなく
業務を続けていくことが
出来ればいいかな

と
思っていました。

しかしある日、

新規ラインの
立ち上げに
携わることになり、

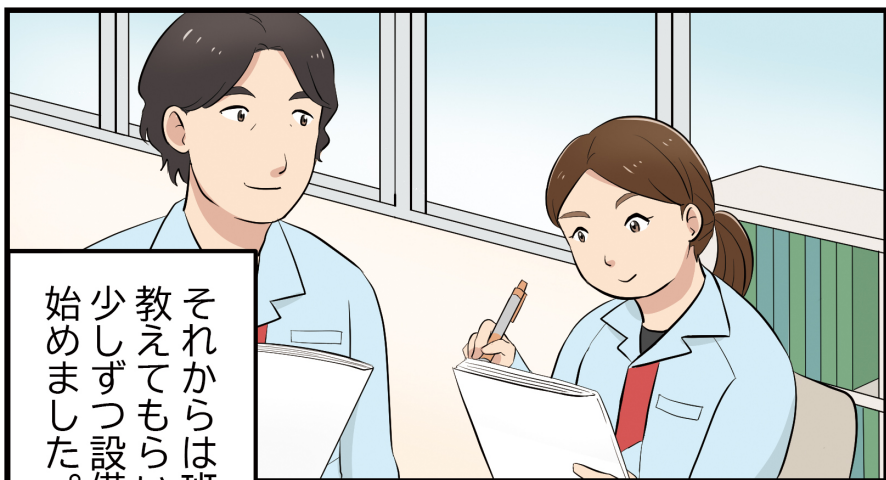
今までの生産業務とは
全く違う内容に
苦戦する日々。

ズ

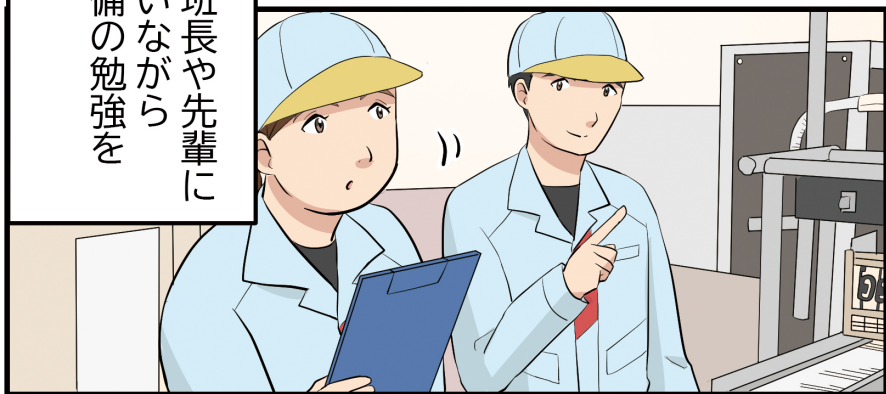


設備に異常が起きてても
自分で保全員を
呼んだこともなく、

知識がないため
現象を説明する
ことすらもできません。



それから班長や先輩に
教えてもらいながら
少しずつ設備の勉強を
始めました。



私は悔しくて

このままじゃ
ダメだ

と一念発起し、



その成果もあって
設備の異常も
少しは理解ができる
ようになりました。

そして新規ラインが
軌道に乗った頃でした。

上司との面談で

最近、設備について色々勉強していたけど2年間の保全留学に挑戦してみるか？

とオフィスの話がありました。

私の中で保全員は設備のことは何でも知っているスペシャリスト。

設備のことを少ししか理解していない私が2年も務まるのだろうか

と不安が先行しました。

しかし、そんなスペシャリストの中に飛び込むということは

設備について学べる最大のチャンスです。

こんなチャンスは逃したら二度とないかもしれない。

行くなら今しかない！

と、私は留学を決意しました。



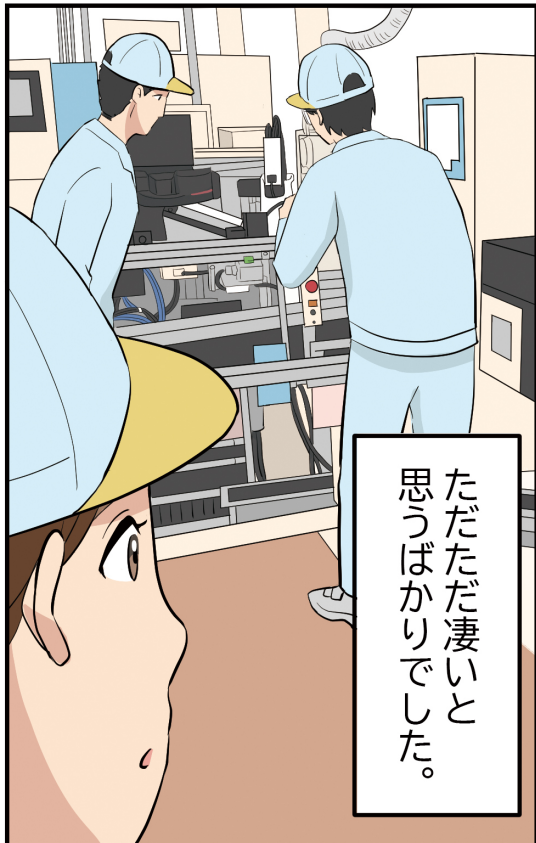
そして保全留学がスタート。

初日から保全業務の大変さは想像以上で

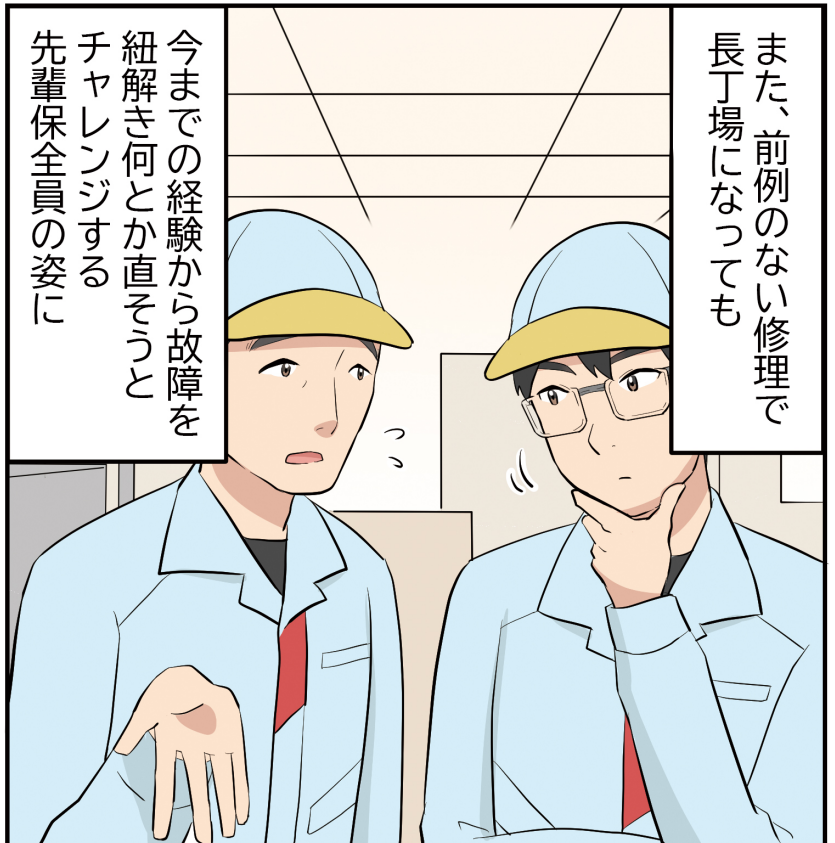
たくさんかかってくる修理依頼の電話に驚きしかありませんでした。



はい どうしましたか



ただただ凄いと
思っばかりでした。



また、前例のない修理で
長丁場になっても

今までの経験から故障を
紐解き何とか直そうと
チャレンジする
先輩保全員の姿に

そしてさまざま
修理に同行する中で、
私はあることに
気がつきました。

それは
現場が気づけば
予防できる故障が
あることでした。

ある日

「異常解除ができない」と
現場から修理依頼があり

急ぎま
しょう

はい!

私は先輩保全員と
現場へ急行しました。

取扱説明書を見ながら
異常のトラブルシューティング
をしていくと

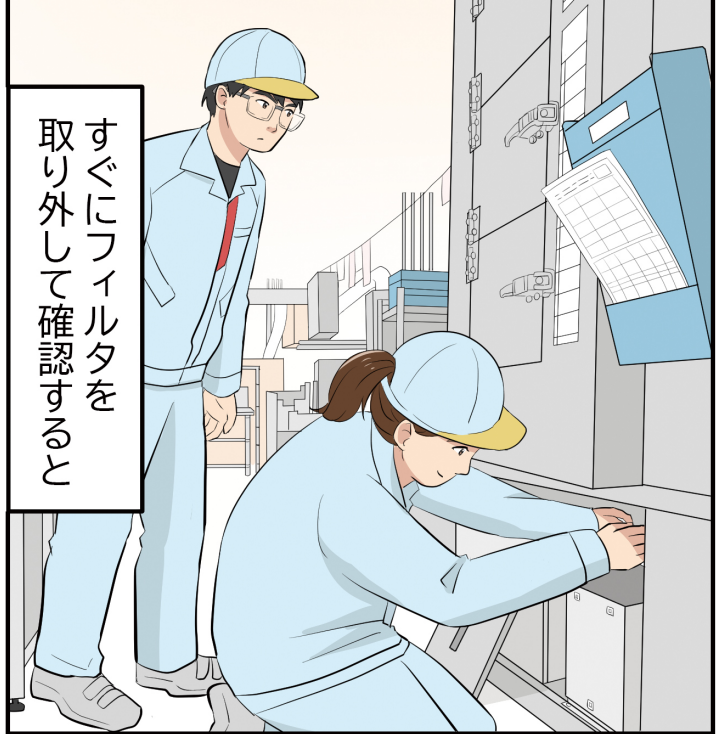
『フィルタの目づまり』
と記載がありました。

フィルタの目づまり



わっ
すごい埃っ！

埃が詰まった
状態でした。

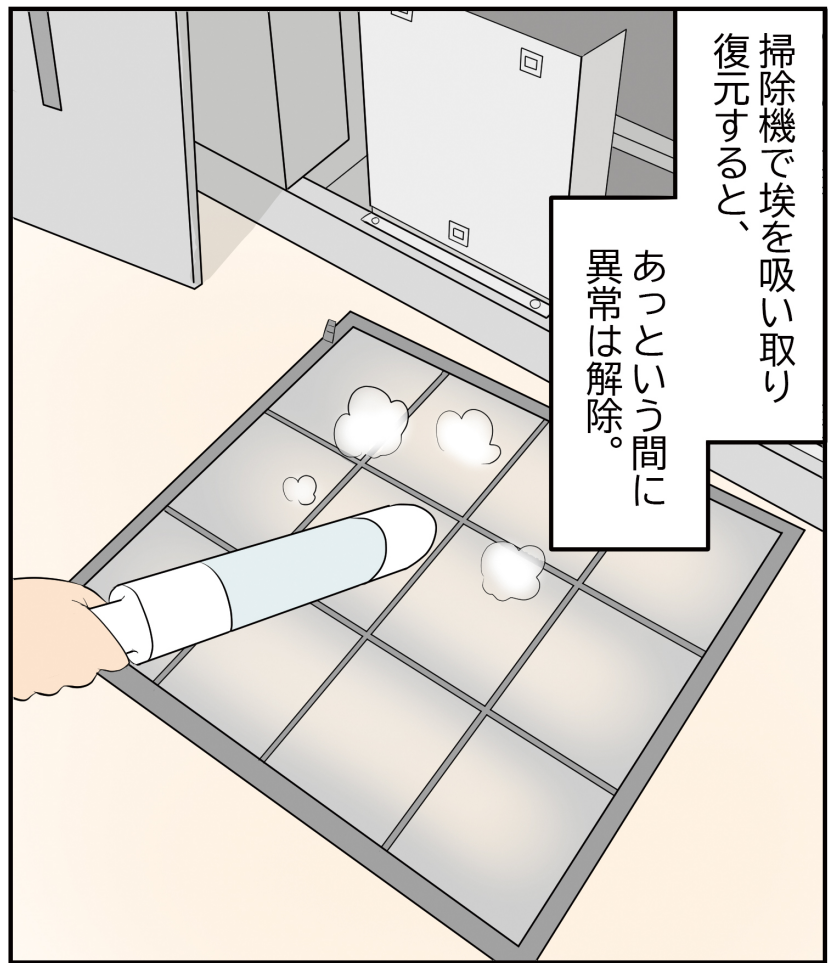


すぐにフィルタを
取り外して確認すると



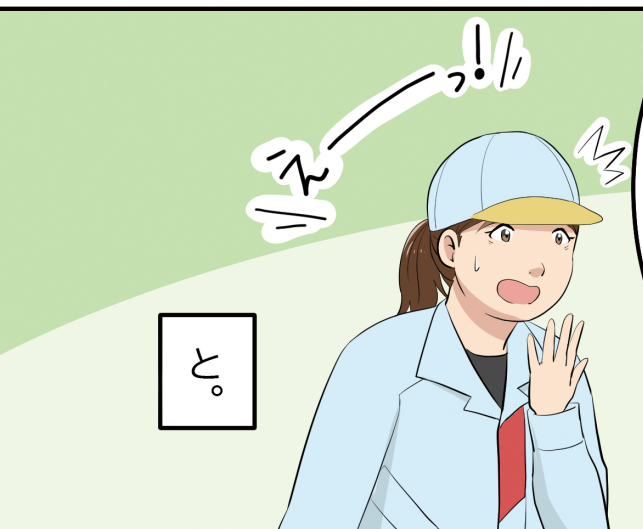
たったの数分で
復帰できたのです。

良かった……！



あっという間に
異常は解除。

掃除機で埃を吸い取り
復元すると、



フィルタの
目づまりひとつで
高額なコントローラが
簡単に壊れることも
あるんだよ

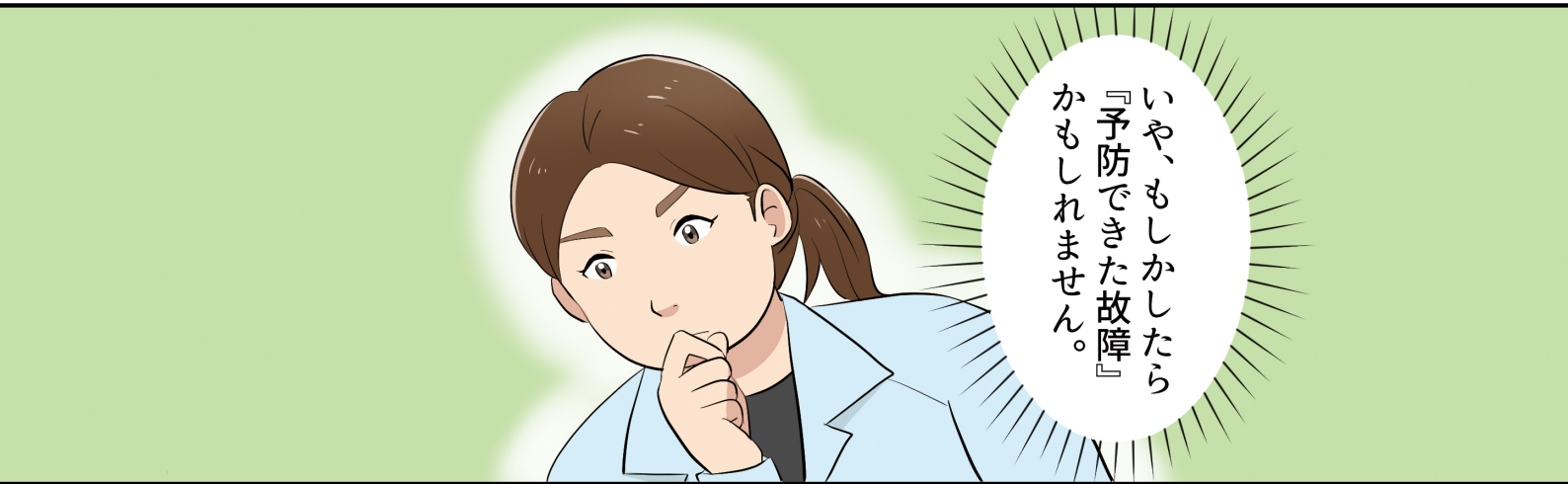


保全室に戻る途中、
先輩保全員が
教えてくれました。

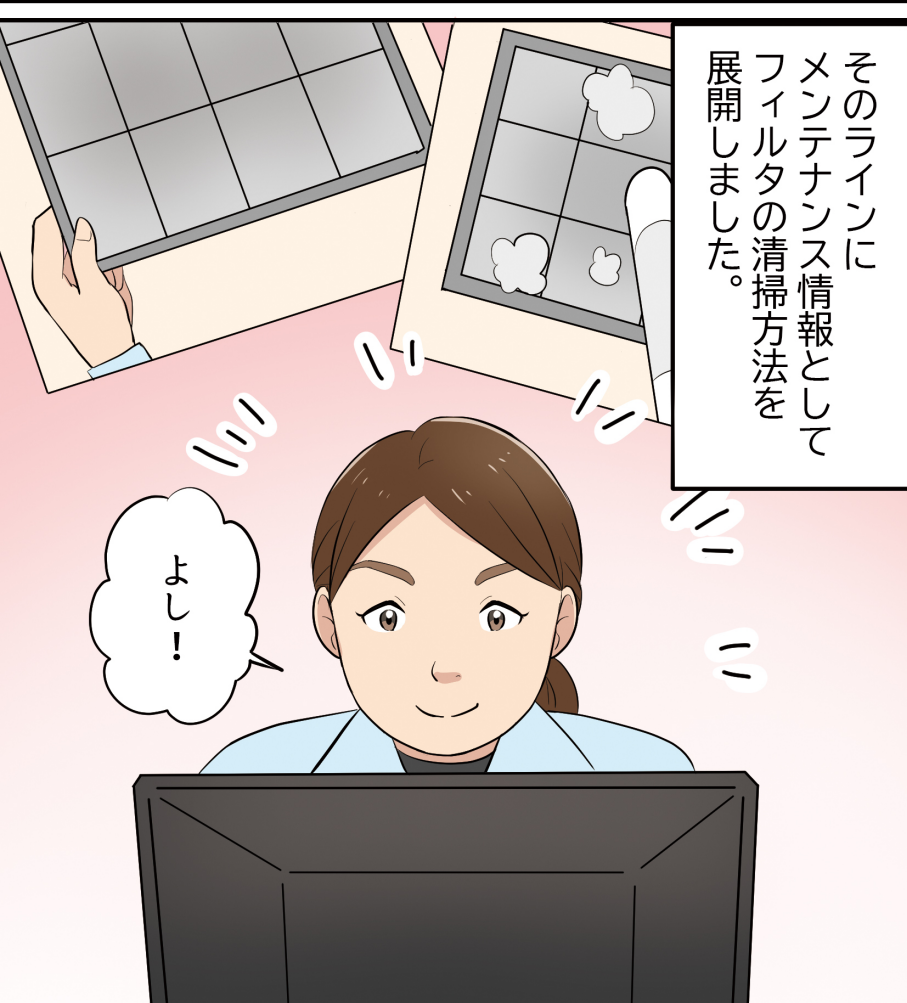


もし、現場が
このフィルタの
存在に気づいて
清掃していたら

設備停止時間は
もっと少なくできた
かもしれません。



いや、もしかしたら
『予防できた故障』
かもしれません。



そのラインに
メンテナンス情報として
フィルタの清掃方法を
展開しました。



私は同じような
フィルタ構造の設備を
持っているラインは
ないか調べ

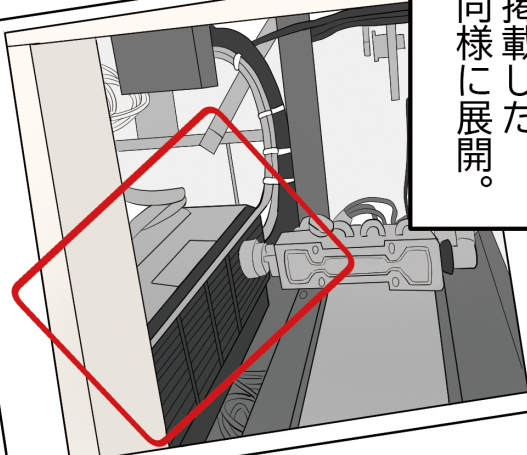
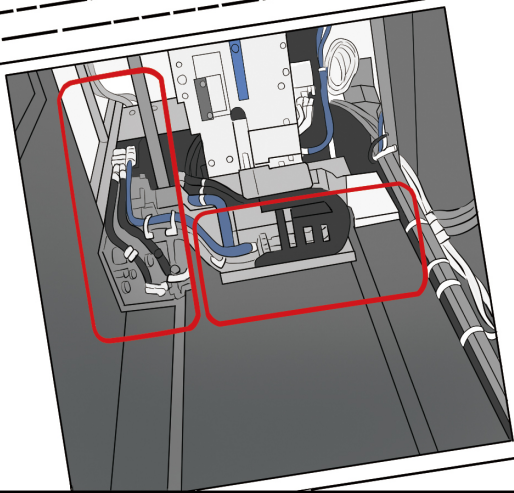
また、今回のように
日常点検表に
載ってはいるけど

日常点検表

一般の作業者には
点検場所が分かりにくい
という問題点も判明しました。

私は日常点検表の
裏側に点検場所の
写真を掲載した
事例も同様に展開。

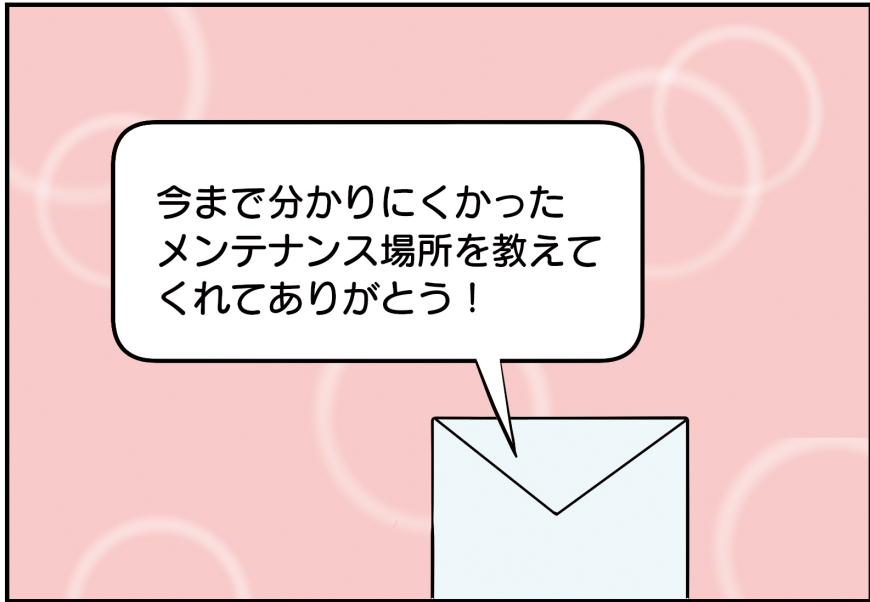
日常点検表



見て使える日常点検表で
点検モレが無いように
改善しました。

異常なし！





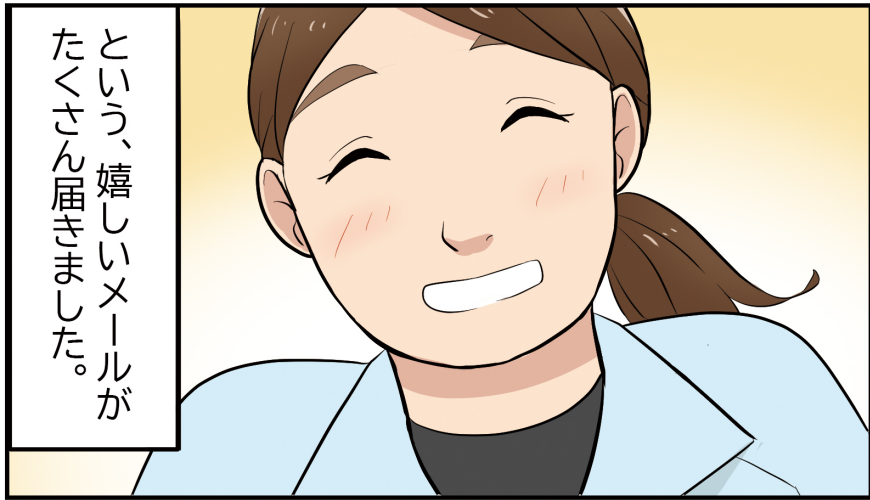
今まで分かりにくかった
メンテナンス場所を教えて
くれてありがとう！



情報を展開後、
同じような症状が
出ていたラインから

メールが
きこえる...

ニ

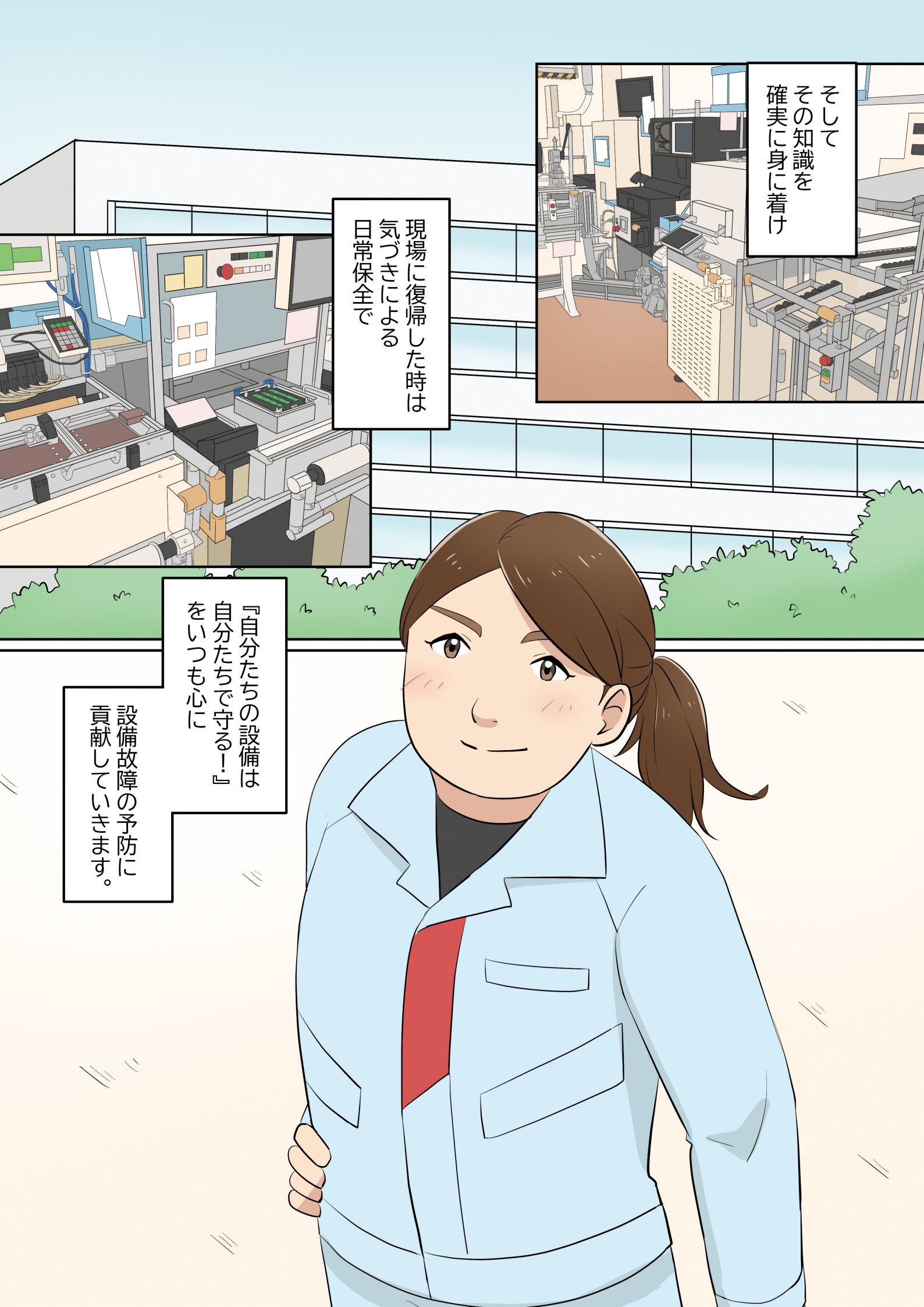


という、嬉しいメールが
たくさん届きました。



私はこのメールを励みに
今日も先輩保全員から

たくさん
の知識を
学んでいます。



そして
その知識を
確実に身に着け

現場に復帰した時は
気づきによる
日常保全で

『自分たちの設備は
自分たちで守る！』
をいつも心に

設備故障の予防に
貢献していきます。

金賞

自分たちの設備は自分たちで守る！

株式会社デンソー 幸田製作所

石田 ひかる

「もっと設備の勉強がしたい」そう思い始めたのは入社15年目の頃でした。それまではラインの作業員として生産に従事するだけの毎日で、「特別な知識がなくてもこのまま変わることなく業務を続けていくことが出来ればいいかな」と思っていました。しかしある日、新規ラインの立ち上げに携わることになり、今までの生産業務とは全く違う内容に苦戦する日々。設備に異常が起きても自分で保全員を呼んだこともなく、知識がないため現象を説明することすらもできません。私は悔しくて「このままじゃダメだ」と一念発起し、それからは班長や先輩に教えてもらいながら少しずつ設備の勉強を始めました。その成果もあって設備の異常も少しは理解ができるようになりました。そして新規ラインが軌道に乗った頃でした。上司との面談で「最近、設備について色々勉強していたけど、2年間の保全留学に挑戦してみるか？」とオファーの話がありました。私の中で保全員は設備のことは何でも知っているスペシャリスト。「設備のことを少ししか理解していない私が2年も務まるのだろうか」と不安が先行しました。しかし、そんなスペシャリストの中に飛び込むということは、設備について学べる最大のチャンスです。こんなチャンスは逃したら二度とないかもしれない。「行くななら今しかない！」と、私は留学を決意しました。そして保全留学がスタート。初日から保全業務の大変さは想像以上で、たくさんかかってくる修理依頼の電話に驚きしかありませんでした。また、前例のない修理で長丁場になっても、今までの経験から故障を紐解き何とか直そうとチャレンジする先輩保全員の姿に、ただただ凄いなと思うばかりでした。そしてさまざまな修理に同行する中で、私はあることに気がつきました。それは現場が気づけば予防できる故障があることでした。ある日、「異常解除ができない」と現場から修理依頼があり、私は先輩保全員と現場へ急行しました。取扱説明書を見ながら異常のトラブルシューティングをしていくと『フィルタの目づまり』と記載がありました。すぐにフィルタを取り外して確認すると埃が詰まった状態でした。掃除機で埃を吸い取り復元すると、あっという間に異常は解除。たったの数分で復帰できたのです。保全室に戻る途中、先輩保全員が教えてくれました。

「フィルタの目づまりひとつで高額なコントローラが簡単に壊れることもあるんだよ」と。もし、現場がこのフィルタの存在に気づいて清掃していたら、設備停止時間はもっと少なくて済んだかもしれません。いや、もしかしたら『予防できた故障』かもしれません。私は同じようなフィルタ構造の設備を持っているラインはないか調べ、そのラインにメンテナンス情報としてフィルタの清掃方法を展開しました。また、今回のように日常点検表に載ってはいるけど、一般の作業者には点検場所が分かりにくいという問題点も判明しました。私は日常点検表の裏側に点検場所の写真を掲載した事例も同様に展開。見て使える日常点検表で点検モレが無いように改善しました。情報を展開後、同じような症状が出ていたラインから「今まで分かりにくかったメンテナンス場所を教えてくださいありがとうございます！」という、嬉しいメールがたくさん届きました。私はこのメールを励みに今日も先輩保全員からたくさんの知識を学んでいます。そしてその知識を確実に身に付け、現場に復帰した時は気づきによる日常保全で『自分たちの設備は自分たちで守る！』をいつも心に、設備故障の予防に貢献していきます。